

NIFAアクションプラン2018→2022	全体	頁中の	頁
1. 現状の概要と今後の方向性		地区協会	女子委員会 連盟
<ul style="list-style-type: none"> ・女子サッカーチーム登録数27チーム、選手登録者数407名（他女子小学生4種登録者数268名） ・なでしこリーグに新潟県出身プレーヤーを17名輩出。 ・北信越大会では各カテゴリーにて県内勢が全て優勝。（U-15/U-18/高校選手権/大学/皇后杯） ・普及に関してはフェスティバル等を開催し、サッカーの楽しさや友達作り等の環境に力を注いでいる。 ・普及・育成・強化とスタッフ一体となり次世代へ繋げて行くように努力する。 ・他種別との情報交換・連携を行い、女子に関わるスタッフを増やしていきたい。 <p>これまでの中期目標であった2018年目標の対しての達成度や現状、今後の長中期目標に対しての現状の概要、今後の大まかな方向性などについて書いて下さい</p>			

NIFAアクションプラン2018→2022	全体	頁中の	頁
2. 中期目標（2030年）		地区協会	女子委員会 連盟
<ul style="list-style-type: none"> ・女子サッカーチーム登録数40チームとなり、選手登録者が650名となる。 ・なでしこリーグに新潟県出身プレーヤーを5名輩出する。日本フル代表選手に選出される選手を輩出する。 ・全国大会のいずれかで、ベスト4以上の成績をおさめる。 ・U-12、U-15、U-22、全日本大学女子、全日本女子の北信越大会で常時優勝を争う。 ・県と各地区協会が協力体制を確立させ、役員などの人材に関しても、次世代へ引継ぎが行われ、兼任などもなくしていく。また、各地区協会を中心にした大会やフェスティバルを開催し、広く女子サッカーの普及に貢献する。 			

NIFAアクションプラン2018→2022	全体	頁中の	頁
3. 長期目標（2050年）		地区協会	女子委員会 連盟
<ul style="list-style-type: none"> ・女子サッカーチーム登録数が50チームとなり、選手登録者数が800名となる。 ・なでしこリーグに新潟県出身選手の継続的な輩出を図り、日本フル代表選手や年代別代表などに進出される選手を輩出し続ける。 ・全国大会のいずれかで常時ベスト4以上の成績をおさめることができる。 			

NIFAアクションプラン2018→2022					全体 頁中の 頁
4. 現状分析					地区協会 女子委員会 連盟
No. と 事項	2022年具体的目標	2018年における現状	達成度	目標達成へ向けての課題	改善の方策
No. 1 普及	登録チーム数：40チーム 選手登録者数：650名 小学生女子の4種登録統合による 選手数・登録チームの減少	登録チーム数：27チーム 選手登録者数：407名 (他女子小学生4種登録者数268名) 各地区で4種チームで活動している小 学生の把握、および、女子U-12フェス ティバルへの参加の促進	40%	1. 女子サッカーの啓蒙 2. 4種チームとの連携	普及(アカデミー)活動を通して 人口増加を狙う U-12における大会やフェスティバル を企画や合同チームでの参加促進
No. 2 普及	中学校年代チーム数：10チーム 高校年代チーム数：15チーム	中学校年代チーム数：2チーム 高校年代チーム数：12チーム	20%	1. 指導者の確保 2. 活動場所の確保 3. 活動機会の創設	 3種、2種年代への チーム立ち上げへの働きかけ
No. 3 普及	登録チーム：1チーム	レディース(0-40)単独チームに 関して、徐々に減少傾向にある	40%	1. 登録メリットの創出 2. 活動機会の創設	未登録選手の活動場所確保 大会規定の見直し・改善
No. 4 普及	4地区6フィスティブアル開催	地区女子委員会を中心とした 普及活動を実施と内容の充実	80%	1. 4地区委員会組織の確立 2. 参加選手の増員	近隣にも参加を呼び掛け 北信越地域全体での活性化
No. 5 強化	U15：全国大会 優勝 U18：全国大会 優勝 高校：全国大会 ベスト4 大学：全国大会 ベスト4 皇后杯：優勝	U15：全国大会出場 U18：全国大会出場 高校：全国大会出場 大学：全国大会出場 皇后杯：全国大会出場	60%	1. 県トレセンからの育成 2. U17活動の活発化 3. 県全体のレベルアップ	伝達講習会の実施 トレセンの活動の充実
No. 6 強化	なでしこリーグに新潟県出身 プレイヤーを10名輩出 フル代表選手に3名輩出	なでしこリーグに 新潟県出身選手17名輩出 フル代表選手1名	80%	1. トレセンからの引き上げ 2. 活動チームとの連携 3. 活動環境の整備と提供	トレセンスタッフを 各チームスタッフから選出 スタッフ同士での連携強化
No. 7 組織	各委員の担当兼務を廃止 スタッフの育成	兼務の減少には至らない 人材確保が困難な状況	70%	1. 各業務のマニュアル化 2. 役員の増加	女子に関わるスタッフの確保 4種他種別との連携
事項番号と見出し	事項の中での具体的な目標 明確に、可能であれば数値で	2022年目標に向けての2018年での現状 達成度の%表記を右欄へ記入→	%表記	目標達成のために解決すべき課題	課題を解決、改善のための方策の概要

NIFAアクションプラン2018→2022					全体 頁中の 頁
5. 具体的アクション					女子委員会 連盟 地区協会
No.	誰が	いつ・いつまでに	どこで	何を	どのように
1	Albirex 新潟 レディース	リーグ戦開催に 合わせて	各地区市町村	フェスティバル サッカークリニック	開催する
	女子委員会	毎年期に応じて	各地区市町村	フェスティバル参加	促進させる
2	女子委員会	2022年度までに	各地区	チーム立ち上げ	働きかけを行う
3	女子委員会	2022年度までに	各地区	レディース (0-40) チーム立ち上げ	働きかけを行う
4	各地区委員長	毎年期に応じて	各地区で	レディース フェスティバル ガールズ フェスティバル	開催する
5	トレセン スタッフ	定期的	各地区で	NTC伝達講習会を	開催する
	女子委員会	定期的	各地区で	トレセンを	開催する
6	Albirex 新潟 レディース 新潟医療 福祉大学 JAPAN サッカー カレッジ レディース	2022年度に 向けて		新潟県出身選手を 輩出できるように	強化する
7	女子委員会	年2回以上 定期的 2020年度までに		委員会や総会を 委員長、地区委員長を 円滑に交代できるように 役員を	開催する マニュアル化する 増員する

↑現状分析での事項No.に対応。複数の事項にまたがって、一つの事業で対応することも可能です